
水拭きによる“くもり”の発生しない画期的な 放射線遮蔽用鉛ガラス「LXプレミアム」を新発売

日本電気硝子株式会社(本社:滋賀県大津市 社長:井筒雄三)は、放射線診断施設などにおける医療従事者の放射線被曝を大きく軽減する放射線遮蔽用鉛ガラスの画期的な新製品<LXプレミアム>を4月下旬より発売いたします。

鉛ガラスは放射線遮蔽性能を有する一方で、素手で触れた際の手の汗・脂、又は水拭きなど、水分がガラス表面に付着することで「くもり」という問題がありました。

<LXプレミアム>は優れた放射線遮蔽性能をもつ高鉛ガラス<LX-57B>を保護用の板ガラスで挟み込んだ多層構造のため、薬品の飛散や水拭き等に起因する「くもり」がガラス表面に発生しません。鉛ガラスの弱点を克服し、高いメンテナンス性を実現した<LXプレミアム>は、衝撃安全性にも優れた、これまでの放射線遮蔽用鉛ガラスを進化させた次世代型「放射線遮蔽用ガラス」です。

<特長>

1. 高い透明度

鉛ガラスを板ガラスで保護しているため、薬品や水拭きなどに起因するガラス表面の「くもり」(鉛成分が水や脂質などと反応して生じるヤケ)が発生せず、簡単なメンテナンスにより常に高い透明度を維持できます。

2. 優れたメンテナンス性

表面を板ガラスで保護しているため「くもり」を気にすることなく、普通の窓ガラスと同様に水拭きやガラスクリーナー、洗剤等でクリーニングすることが可能です。

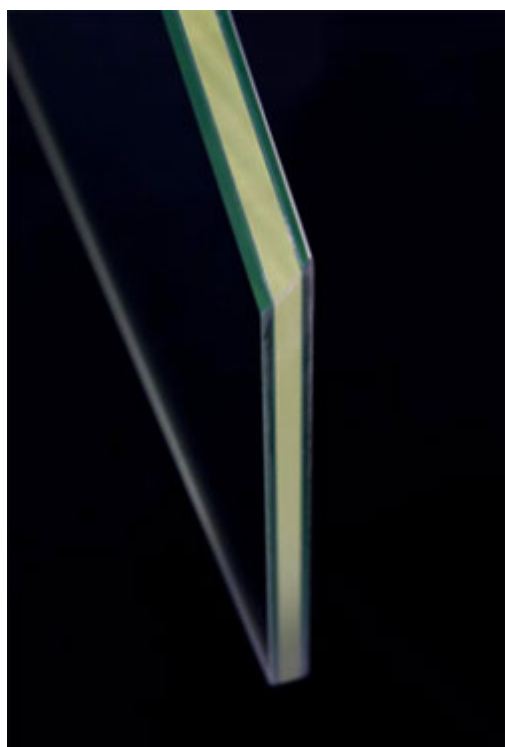
3. 安全性

自動車のフロントガラスと同様、多層構造の合わせガラスであるため、万が一割れても飛散しにくく、衝撃安全性に優れています。

<用途>

1. 滅菌消毒が必要なエックス線撮影室の操作室窓
2. 血管撮影室などの薬品が飛散しやすい監視窓
3. 人が頻繁に接触する扉の覗き窓・・・など

<発売> 2009年4月下旬



▲<LXプレミアム>のガラス断面



▲優れた放射線遮蔽性能と良好な視界を
確保する<LXプレミアム>